

(様式3)

公共事業再評価調書

番 号	道路—4	事業担当局課	港北区 港北土木事務所		
事業名	主要地方道横浜生田（新羽町地内）道路改良事業		採択年度 H18		
施工場所	港北区新羽町		経過年数 11年		
目的及び 事業概要	<p>目的</p> <p>港北区新羽町地内を通過する主要地方道横浜生田は、県道川崎町田と新横浜元石川線を南北に結ぶ幹線道路ですが、バス路線や通学路でもあり、地域住民の生活に密着した道路として利用されています。また、平成 29 年 3 月には横浜環状北線及び関連街路長島大竹線が供用開始され、周辺の交通状況に大きな変化が生じています。また、横浜環状北西線は東京 2020 オリンピック・パラリンピックまでの開通を目指して整備が進められていることから、さらなる交通状況の変化が見込まれます。</p> <p>現在通学路でありながら大部分に歩道がないこと、道路の見通しが悪いことなどから、バスの走行性の確保、車両通行の円滑化及び歩車道分離による周辺住民の安全性・利便性の向上を図るため、バスベイの設置、歩道整備及び交差点改良を行うものです。</p> <p>工事概要</p> <p>延長 325m 幅員 9m(車道 7m 歩道 2m) バスベイ 1箇所 用地面積 460m²</p>				
			当初(事業採択時)	変更(平成 28 年度)	
	事業期間		平成 18～22 年度	平成 18～33 年度	
	事業費	合 計		225 百万円	312 百万円
		国 費		—	—
		市 費		225 百万円	312 百万円
	変更内容	バスベイの設置箇所を考慮し、事業区間を延伸した。 諸経費や労務単価の増加などから事業費の見直しを行った。			
上位計画等	<p>横浜市中期4か年計画(2018～2021)の政策 20「市民に身近な交通機能等の充実」の施策2で「歩行者の安全確保や地域の利便性向上」を掲げています。</p> <p>本事業区間は、バス路線であり、通学路でもあるため、交差点改良や歩道設置、バスベイの設置により、車両通行の円滑化、歩行者の安全性の向上を図るものです。</p>				
関連事業	横浜環状北線及び関連街路長島大竹線が平成 28 年度に供用開始された。				
事業の 必要性	<p>事業を巡る社会経済情勢等の変化</p> <p>近年、通学中の児童を巻き込んだ痛ましい事故が多数発生しており、通学路等に対する安全対策の向上は学校関係者だけではなく、地域住民の皆様からの要望としても年々増加しています。</p> <p>従前より課題であった歩道未整備区間については、危険性があると懸念され、地域住民の皆様から歩道整備の強い要望をいただいています。</p>				

事業の 投資効果 ・ 事業効果等 (費用便益分析等)			事業全体	残事業
	割引率		4% (2%)	
	総便益(B)		4.6 億円 (7.2 億円)	—
	総費用(C)		3.5 億円 (3.1 億円)	—
	費用便益比 (B/C)		1.3 (2.3)	—
	感度分析 [交通量-10%]		1.0 (1.7)	—
<p>[定性的効果]</p> <p>当該道路は、新羽小学校・中学校の通学路として利用されていますが、歩道幅員を十分に確保できていません。歩道拡幅、バスベいの設置及び交差点改良を行うことにより通学児童など歩行者等の安全性が大幅に向上します。</p> <p>[その他特記事項]</p>				

事業の 進ちよく 状 況	事業進ちよく率%	平成 29 年度末までの事業進捗率は60.1%、用地取得率は76.5%となっています。平成 26 年度に交差点改良工事が完成し、一部歩道整備を行いました。平成 30 年度に北側(南台町バスベイ付近)の歩道拡幅工事を施工しています。同時に、南側地権者への用地交渉を進めています。
	60%	
	用地取得率%	
	77%	
	供用等の状況	
	—	
事業の課題 及び進ちよく 見 込 み	<p>関係する南東側地権者(現在歩道未整備区間)の方との交渉に時間を要しています。片側、両側に歩道を作る形態を提示し、用地交渉を進めています。また、現在仮移設している南台町バスベいの整備について町内会と協議中です。平成 30 年度の歩道拡幅工事の完成により事業に対する理解が得られると考えており、今後事業に合意されていない地権者との交渉や用地取得を進め、平成 33 年度の完成を目指します。</p>	
そ の 他 (コスト縮減項目等)	<p>設計時にコストを意識した施工方法の検討を行うとともに、舗装の材料に再生材を使用するなど可能な限りコスト縮減に努めます。</p>	
その他	—	
添付資料	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	

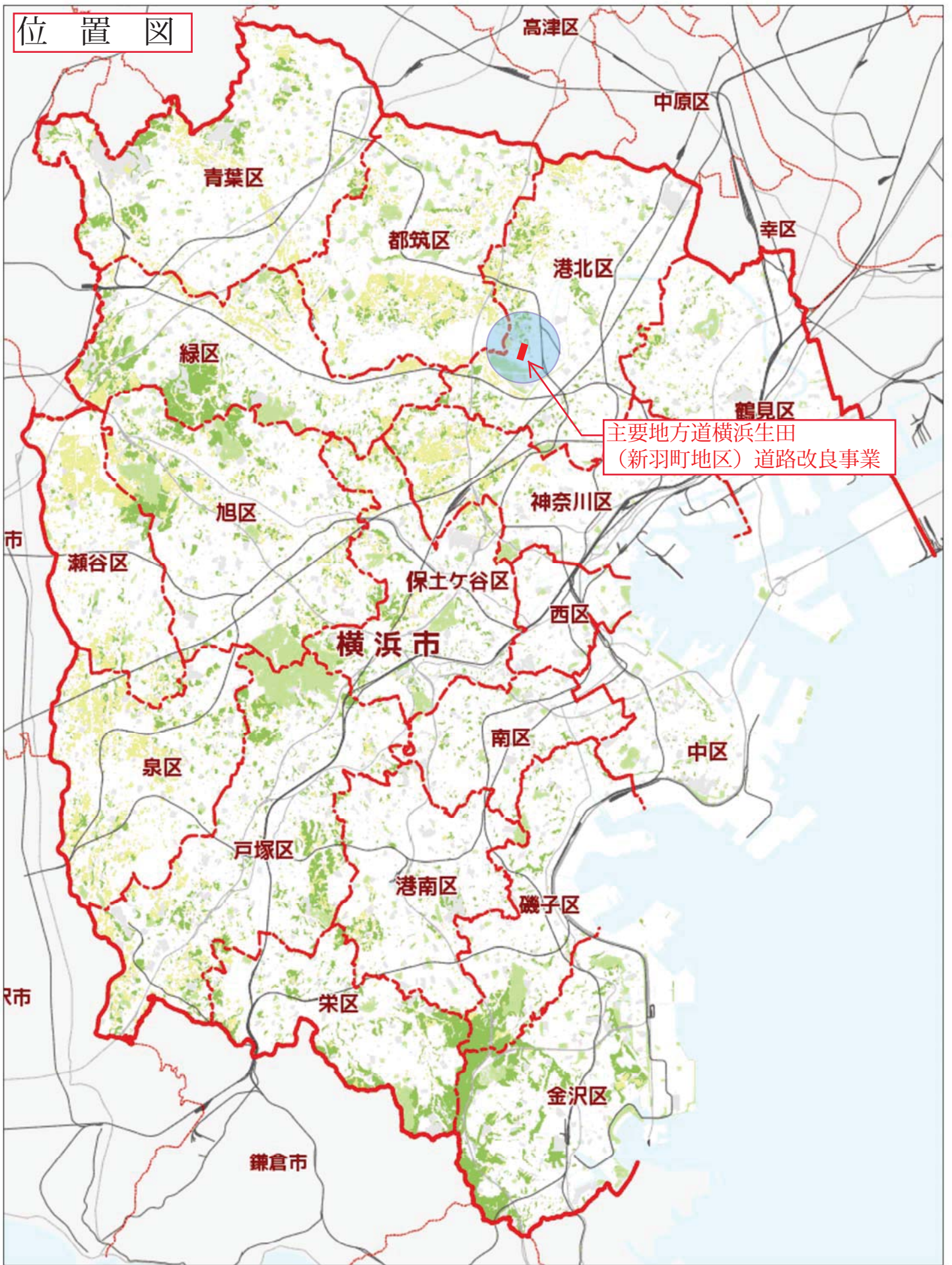
対応方針 (案)		計画通り(上記計画を実施)※1
	継続	一部見直し(上記計画を変更)※2
		【見直し内容】
中 止		

対応方針 (案) として 理由	<p>本事業区間は、地域住民の生活に密着した道路であるが、バスベイが無く道路の見通しが悪く、歩道幅員が不十分であるため、車両や歩行者の円滑な通行に支障をきたしています。車両交通の円滑化及び歩行者の安全確保のため、事業を継続して実施する必要があると判断しています。</p>
-----------------------	---

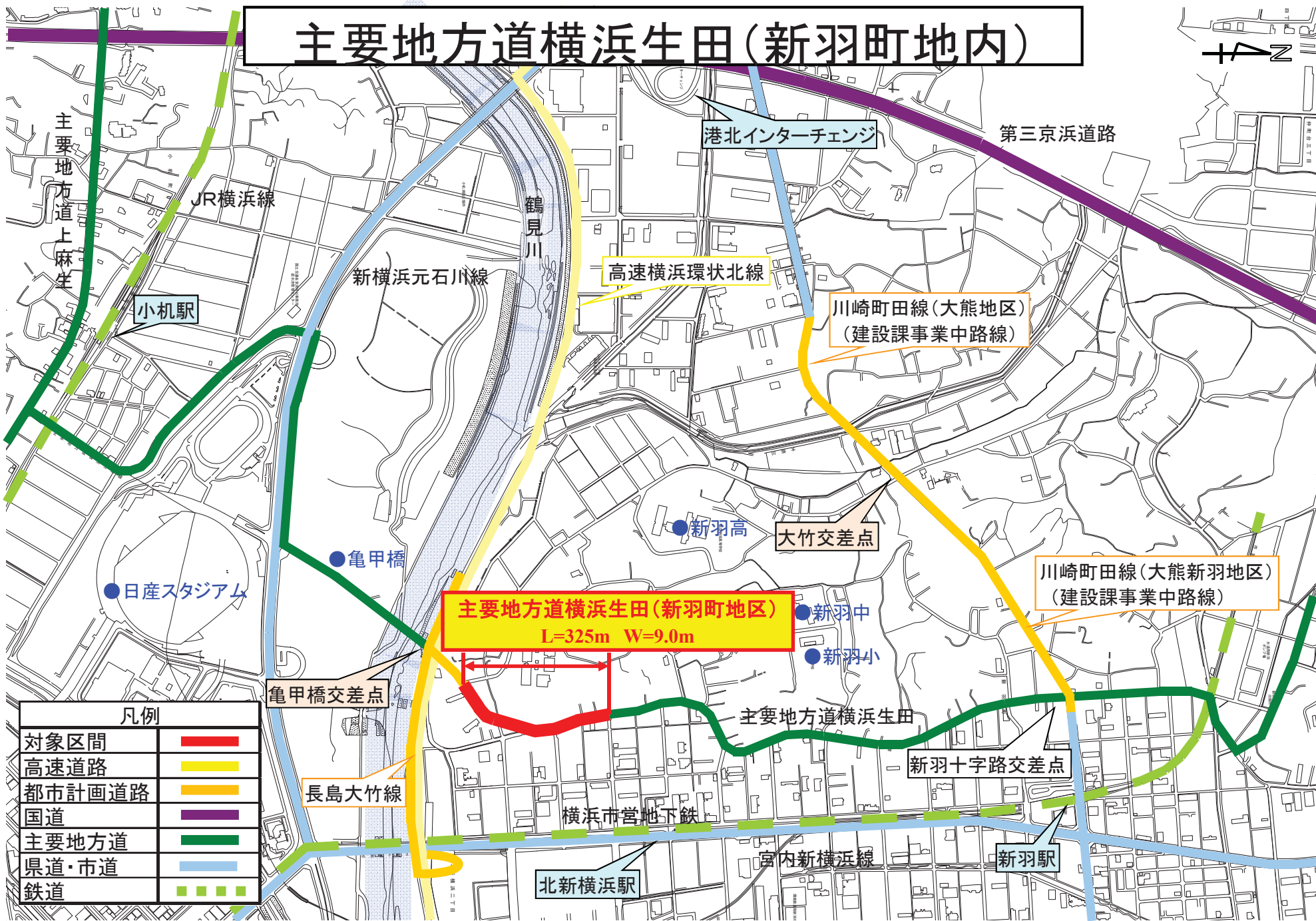
※1：既に見直し内容が確定している場合は、こちらを選択してください。前の再評価で「継続(一部見直し)」の事業についても、その見直し内容が確定している場合は、こちらを選択してください。

※2：今後、見直しを行うことが確定している事業は、こちらを選択し、見直し内容を記載してください。

位置图



主要地方道横浜生田(新羽町地内)



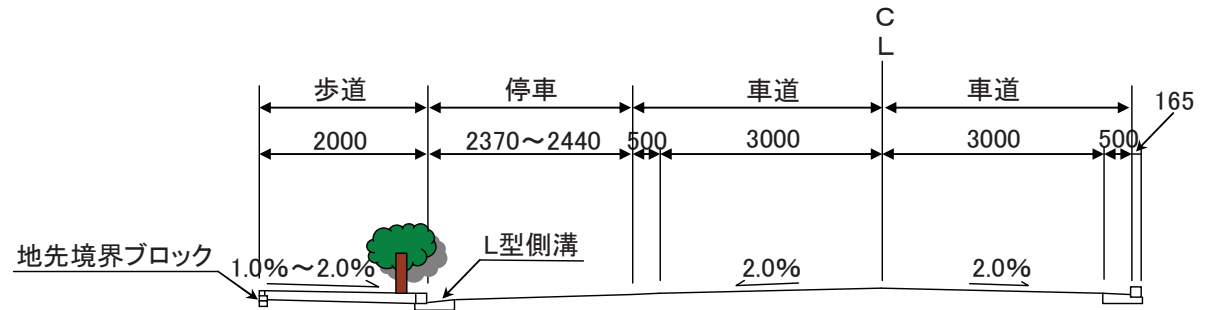
主要地方道横浜生田(新羽町地区)
L=325m W=9.0m

凡例	
対象区間	▬
高速道路	▬
都市計画道路	▬
国道	▬
主要地方道	▬
県道・市道	▬
鉄道	▬▬▬▬

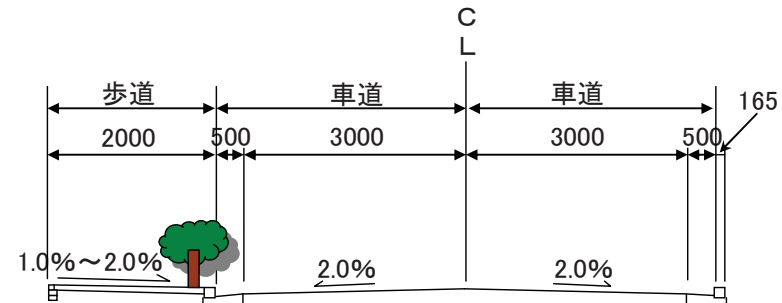
主要地方道横浜生田(新羽町地内)



バス停車帯部



標準断面図



主要地方道横浜生田(新羽町地内)
L=325m

先行整備(歩道含む交差点改良) 計画バス停車部 L=53.9m

バス停(予定)

写真-1

写真-3

写真-2

写真-5、6

交差点改良部

写真-4

凡例	
対象区間	█
施工中区間	█
完了区間	█
主要地方道	█

主要地方道横浜生田(新羽町地内)(写真-1)

歩道設置

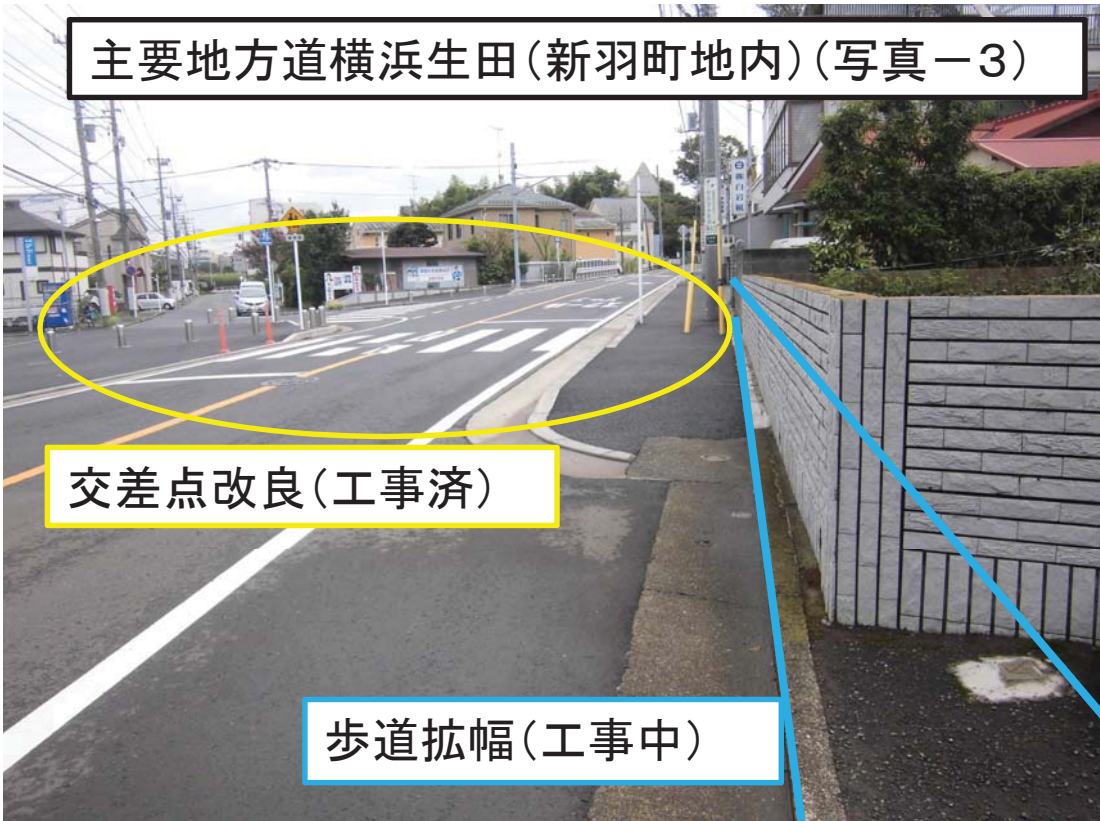


主要地方道横浜生田(新羽町地内)(写真-2)

バスベイ整備予定



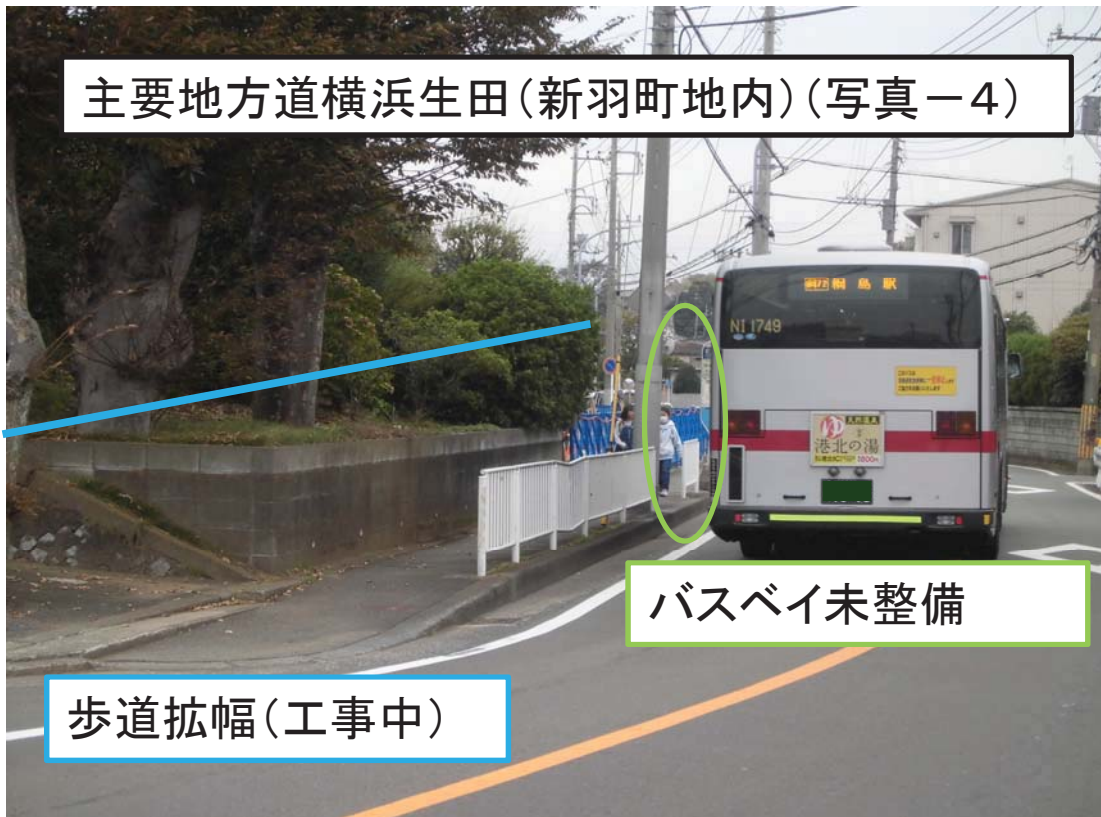
主要地方道横浜生田(新羽町地内)(写真-3)



交差点改良(工事済)

歩道拡幅(工事中)

主要地方道横浜生田(新羽町地内)(写真-4)



バスベイ未整備

歩道拡幅(工事中)

主要地方道横浜生田(新羽町地内)(写真-5)



歩道拡幅(工事前)

主要地方道横浜生田(新羽町地内)(写真-6)



歩道拡幅(工事中)

前回再評価内容との比較

	前回 (H25)	今回 (H30)	5年間の経過
事業を巡る社会経済情勢等の変化	平成 28 年度には横浜環状北線及び関連街路長島大竹線が供用開始されるため、交通量増加が見込まれています。従前より課題であった歩道未整備区間については、危険性が増すと懸念され、地域住民の皆様から歩道整備の強い要望をいただいています。	近年、通学中の児童を巻き込んだ痛ましい事故が多数発生しており、通学路等に対する安全対策の向上は学校関係者だけではなく、地域住民の皆様からの要望としても年々増加しています。 従前より課題であった歩道未整備区間については、危険性があると懸念され、地域住民の皆様から歩道整備の強い要望をいただいています。	平成 28 年度に横浜環状北線及び関連街路長島大竹線が供用開始され、交通状況に大きな変化。
事業進捗率	29.8%	60.1%	+30.3%
用地取得率	28.6%	76.5%	+47.9%
供用等の状況	—	交差点部供用中	交差点部の供用開始
事業の進捗見込	関係する地権者の方との交渉に時間を要していますが、交差点付近の南側用地（3 地権者、4 筆）を、重点的に用地取得を進めた結果、交差点に関連した用地取得が平成 25 年 5 月に契約したので、平成 26 年度に交差点改良に取り組む予定です。また、他の関係する地権者の方と交渉を進めており、交差点改良によって効果が得られることにより事業に対する理解が得られると考え、平成 28 年度の完成を目指します。	関係する南東側地権者（現在歩道未整備区間）の方との交渉に時間を要しています。片側、両側に歩道を作る形態を提示し、用地交渉を進めています。また、現在仮移設している南台町バスベイの整備について町内会と協議中です。平成 30 年度の歩道拡幅工事の完成により事業に対する理解が得られると考えており、平成 33 年度の完成を目指します。	平成 26 年度に交差点改良が完成、平成 30 年度に北側歩道拡幅工事を施工中。

事業進捗状況

主要地方道横浜生田（新羽町地内）

（単位：百万円）

年度	単年度事業費			事業進捗率			用地取得		
	合計	用地・補償	工事・委託	合計※1	用地・補償※2	工事・委託※2	取得面積(m ²)	累計(m ²)	用地取得率※3
H18	2	0	2	0.7%	0.0%	0.7%	0	0	0.0%
H19	22	20	2	7.7%	6.5%	1.2%	33	33	7.1%
H20	4	0	4	8.9%	6.5%	2.4%	0	33	7.1%
H21	40	35	5	21.6%	17.8%	3.9%	98	131	28.3%
H22	4	4	0	23.0%	19.2%	3.9%	0	131	28.3%
H23	0	0	0	23.0%	19.2%	3.9%	0	131	28.3%
H24	1	0	1	23.2%	19.2%	4.1%	0	131	28.3%
H25	71	65	6	45.9%	39.9%	6.0%	163	294	63.5%
H26	32	0	32	56.1%	39.9%	16.1%	0	294	63.5%
H27	1	0	1	56.3%	39.9%	16.4%	0	294	63.5%
H28	3	0	3	57.3%	39.9%	17.4%	0	294	63.5%
H29	9	7	2	60.1%	42.1%	18.0%	60	354	76.5%
合計	187	131	56				354		

※1 事業進捗率（合計）は全体事業費（様式3参照）に占める各年度までの用地補償費と工事委託費の和

※2 事業進捗率（用地補償、工事委託）は全体事業費に占める各年度までの用地補償費もしくは工事委託費の割合

※3 用地取得率は事業全体の取得面積（様式3参照）に占める各年度までの取得面積の割合

事業進捗状況 主要地方道横浜生田（新羽町地内）

